

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	緊急・災害時用トイレ設置事業	所管	総合政策部 危機管理課
			TEL 2998-9399

事業の目的 (何の為に 行うか)	市では、災害時のトイレ対策の一環としてマンホールトイレの設置を促進していくことにした。
------------------------	---------------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	マンホール型トイレ配置基数	対象とした数	10	基
		実際に 利用した数	0	

活動の内容 (何を したか)	下水道が敷設されている指定避難場所及び各出張所に対して、災害時用マンホール型トイレを配置する。このために、校庭内に敷設してある1号人孔のマンホールをトイレ用マンホールに交換する。また、指定避難場所及び各出張所の敷地外に敷設してある下水道管のマンホールをトイレ用マンホールに交換することについては下水道部において行う。							
	活動実績	項目名	マンホール型トイレ 配置数	10 ----- 単位 基	項目名	単年度配置基数	10 ----- 単位 基	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,722	1,680	3,089	9.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	設置率	配置済基数/配置予定基数	206 ----- 単位	4 ----- 単位	1.9 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了	

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	010400	TEL	2998-9399
事業コード	緊急・災害時用トイレ設置事業					
010405						
開始年度		平成 19 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市地域防災計画							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	2節 防災	中柱	2 災害応急対策の充実	小柱	(2)被災者支援の取り組み
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 19 位		・実施計画における位置づけ… H19 A   H20 O					
事業開始の背景	平成16年に発生した新潟県中越地震においては、トイレに行きづらいことから水を飲まず結果としてエコノミー症候群を発症するケースがみられ、災害時の避難生活においては、トイレ対策が最大の課題となったものである。								

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)							
	市では、災害時のトイレ対策の一環としてマンホールトイレの設置を促進していくことにした。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方			
	マンホール型トイレ配置基数				利用基数			
	対象数	単位	平成 18 年度		利用数	単位	平成 18 年度	
		平成 19 年度	10 基			平成 19 年度	0	
事業の具体的な内容及び実施方法								
下水道が敷設されている指定避難場所及び各出張所に対して、災害時用マンホール型トイレを配置する。このために、校庭内に敷設してある1号人孔のマンホールをトイレ用マンホールに交換する。また、指定避難場所及び各出張所の敷地外に敷設してある下水道管のマンホールをトイレ用マンホールに交換することについては下水道部において行う。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	平成19年度中に改善した点 特になし。							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			1,722	2,310
	決算 (見込み含む)			1,680	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費	人	0	0.15 人	1,409
	公債費				
	事業費合計		0	3,089	
	財源内訳	一般財源	0	3,089	2,310
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		0.0	9.1	
	利用数一単位あたり(単位:円)				

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	マンホール型トイレ配置数	計算方法	配置済トイレ基数	単位	基	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	単年度配置基数	単年度配置済基数		基			10	18	206
	成果分析	設置率	配置済基数 / 配置予定基数				目標値	206	18	
							実績	4		実績値の拡大を図る1
						%	達成率	1.9		実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性		
	明らかとなった課題	下水道において設置しているマンホールについては道路の中央に仮設トイレを設置することになる場合があるので極力歩道上に設置する必要がある。	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)				
平成20年度における目標設定	トイレ用マンホールの修繕を3箇所行う	指定避難場所39箇所トイレ用マンホールの修繕を行う	平成30年度				
	マンホール型トイレ8基配置	指定避難所及び各出張所67箇所206基マンホール型トイレを配置する	平成39年度				
平成21年度における事業の方向性							
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )						
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	平成16年に発生した新潟県中越地震においては、トイレの対策が重要な課題となったことから、災害対策の重要課題としてトイレ対策は緊急かつ重要な課題である。						
評価日	平成20年5月14日	記入者職氏名	危機管理課長 荻岐 英昭				

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
評価理由	過去に発生した大規模災害にて、トイレの供給が必要に追いついていない状況が明らかとなり、現在その必要性が認識されている。そのため、指定避難場所への設置を優先的に、本事業の計画的設置を早急に進めるべきと考える。本事業は他所との連携が必須なことから、プロジェクト等全庁的な取り組みとすべきである。							
評価日	9月1日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	181
	施策の体系	1-8災害の対策	施策の方向	1-8-1防災施設の充実
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				